

～ チェーンストア広報担当者が選ぶ ～

2006年チェーンストア10大ニュース

2006年12月6日

日本チェーンストア協会

- 1 . 丸紅、ダイエーの筆頭株主に。イオンが再建支援の優先交渉権を獲得。
- 2 . まちづくり三法改正。
～ 改正都市計画法により、大型商業施設（10,000 m²超）の郊外等への出店規制を強化
- 3 . 改正容器包装リサイクル法成立。レジ袋有料化の実証実験も開始へ。
- 4 . 米国産牛肉の輸入問題、輸入停止～再輸入再開へ迷走。
- 5 . イオン、中食強化策としてオリジン東秀に対してTOBを実施。
- 6 . 酒類小売業者の経営の改善等に係る緊急措置法が8月末に失効。酒類販売が緩和。
- 7 . 豊洲、川崎、柏の葉など大型商業施設の出店ラッシュ。
- 8 . 日本銀行が5年4ヶ月ぶりにゼロ金利政策の解除を決定。
- 9 . 「厚生年金のパート適用拡大」問題再燃。流通・サービス産業17団体をあげて「断固反対！」を決議。
- 10 . 会社法が施行され、組織再編や資金調達などの規制が緩和される。

～その他の主なニュース（順不同）～

- ・コンビニ、新形態、低価格化路線を打ち出す
- ・電子マネー、更に進化・拡大
- ・原油高による物価高騰
- ・食育基本法に基づき、各社の取り組みスタート
- ・飲酒による交通事故多発で各社試飲を自粛
- ・セブン&アイホールディングスがミレニアムリテイリングを傘下に
- ・タバコ増税
- ・経営陣による企業買収（MBO）増加
- ・㈱ライフコーポレーション、清水社長が会長専任に岩崎社長誕生
- ・駅ナカビジネスの台頭、新しい勢力に
- ・総人口の減少（戦後初めて総人口が減少に）
- ・大西洋、クロマグロ漁獲枠制限
- ・企業のM&A活発化（進む業界再編）
- ・道路交通法改正で民間委託の監視員による新たな駐車違反取り締まりスタート
- ・米ウォルマート・ストアーズ、韓国の小売事業から撤退
- ・梅雨明けが遅れ、日照不足で野菜相場高騰
- ・マイカル、「盛岡南サティ」で出店再開
- ・ネットスーパーの取り組み強化が進む
- ・酒税変更に伴うビール、ウイスキー等の値下げ及び発泡酒等の値上げ
- ・三越、SC内の初出店
- ・リージョナルチェーン各社商勢圏拡大、出店増加
- ・大規模小売業告示スタート
- ・貸金業規制の改正（今後の景気への影響懸念）
- ・イオン銀行準備会社設立
- ・改正独禁法の施行（産業界の慣習取引の是正を促進）
- ・百貨店復調（拡大競争激化）
- ・メタボリックシンドローム、食育など健康志向
- ・景気拡大「いざなぎ」超え
- ・欧米、中国の需要増で鮮魚の価格高騰
- ・残留農薬のポジティブリスト制導入
- ・「イワシ」が一時漁獲高減少により高級魚の価格
- ・GMS衣料の復活をかけた取り組み（IY、イオン、ユニー等）
- ・地価上昇、新店コスト上昇
- ・イオン公募増資
- ・故中内氏一周忌
- ・無人レジ導入企業増加
- ・村上ファンドによる株の買占め
- ・阪急・阪神統合
- ・セブン&アイ・ホールディングス、ヨークベニマルを株式交換で完全子会社化